

いなべ市シルバースローガン

慣れた手も 緩んだ気持ちが 事故招く

\* 事故の発生状況 H24 年 1 月末現在 \*

平成 24 年 1 月度は、傷害事故・賠償事故ともに発生していません。時節柄 総じて就業機会が少なかったことは否定できませんが、会員の皆さんの無事故に対する意識の高揚に依るところが大きいと考えられます。これからも健康管理と自己防衛を念頭に、無事故・無災害を目標に元気に就業しましょう。

シルバー事業	1 月発生分	年度累計
傷害事故	0	5
賠償事故	0	14
計	0	19

## \* インフルエンザに注意

全国的にインフルエンザが流行っており、特に中部地方で猛威を振るっていると報道されています。ウイルスの主流は A 香港型で、幼児や高齢者の罹患率が高いと言われています。高齢者が罹患すると肺炎を併発し重症化するケースが多々見られ、感染予防には万全の注意が必要です。

- ① 栄養・休養・睡眠を充分とること。（体力の維持）
- ② マスクを着用する。（感染しない・感染させない）
- ③ 人込みには近づかない。（君子危うきに近寄らず）  
やむを得ず近づく場合はマスクをする。
- ④ 手洗いとうがいを励行する。
- ⑤ 部屋は適度な湿度を保つこと。（ウイルスは乾燥を好みますので、エアコン使用時には加湿器などで適度な湿度を保ちましょう）



## \* 企業訪問を計画

安全委員会では、安全適正就業推進の観点から就業の実態調査及び客先との情報交換を目的に、例年に倣って公共施設及び就業先企業の中から 4 ヶ所を選択し、2～3 月の期間で『企業訪問』を実施します。訪問先、訪問日時および訪問者（安全委員 2 名編成）の選定は、安全委員会三役と地区担当職員とで協議の上、決定します。

## \* 雪道走行時には最大限の注意を

異常気象の影響から、今年は全国規模で降雪に見舞われ、更には豪雪にさいなまれる地域が増えたと言われています。どうしても雪道や凍てついた道路を走行しなければならない機会が増えるでしょうが、スタッドレス・タイヤへの交換、チェーンを装着しても過信せず、「徐行（20Km/H 以下）」しながら、十分な「車間距離」を保つよう心掛けてください。

## \* 火の用心

昨今 TV、ラジオ等の気象予報で、「乾燥注意報」発令報道をよく耳にしますが、乾燥状態とは湿度 30% レベルをいうそうです。そして、一旦 火がつくと湿度 60%（梅雨期）のときに比べて火の回りは 3 倍ぐらい速くなり、したがって、この時期、家屋火災では出火後ほぼ 1 時間で全焼に至っていると言われています。逃げ遅れないために「住宅用火災報知器」の設置は必要不可欠ですが、その前に、出火させないよう心がけてください。

- ① 寝たばこはしないこと。
- ② ヒーター・ストーブ等暖房器具類はベッド、布団、カーテンのそばから遠ざけること。
- ③ タコ足配線をしない。時々、コンセントやプラグが過熱していないかどうか調べること。
- ③ 台所でガスコンロを使用中、その場を離れる際は必ず火を消す。等々